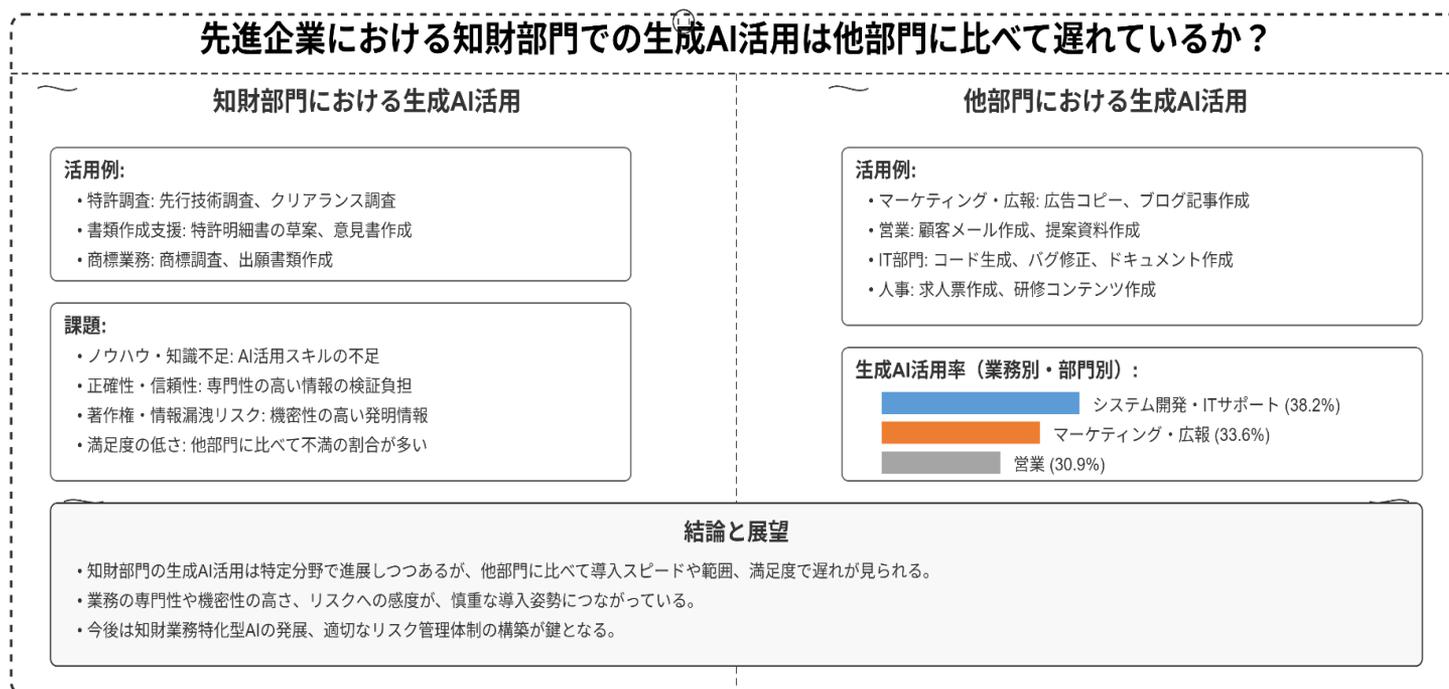


先進企業において、知財部門での生成 AI 活用は、他部門に比べて遅れているというのは本当か？

Felo AI



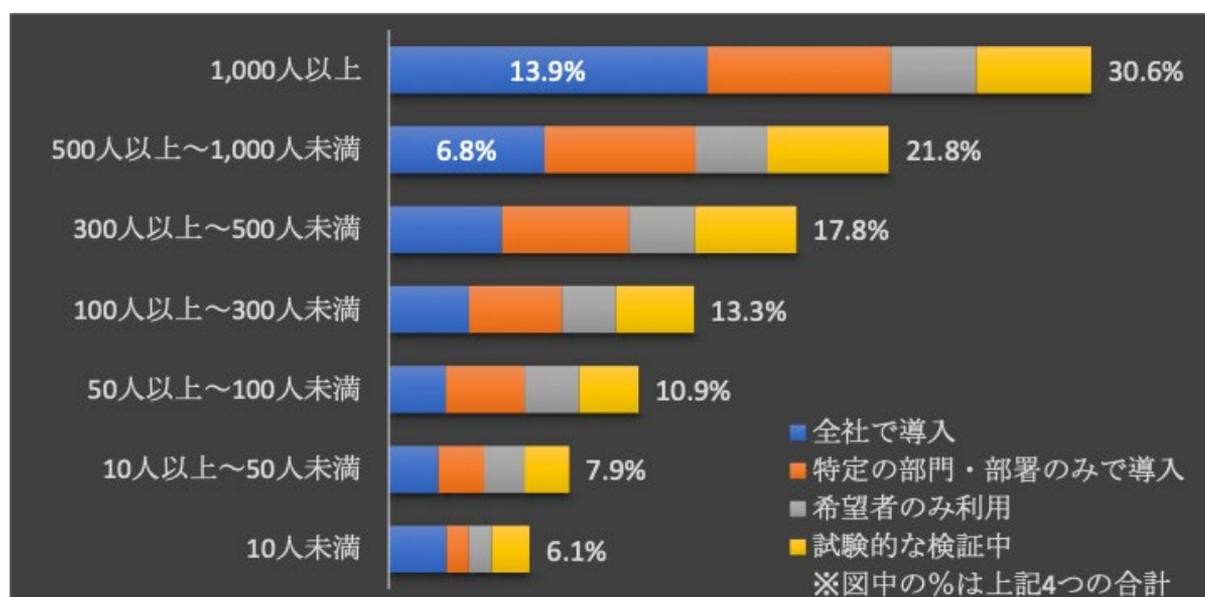
概要

先進企業における知財部門での生成 AI 活用は、特許調査や一部の書類作成支援など特定の業務において効率化が進みつつあるものの、マーケティング部門や IT 部門など他部門と比較すると、全社的な導入の波に乗り切れていない、あるいは活用度合いや満足度の面で課題を抱えている側面があると考えられます。専門性の高さや情報の機密性、著作権リスクへの懸念などが、他部門と比べて慎重な導入姿勢や活用範囲の限定につながっている可能性があります。

詳細レポート

日本企業における生成 AI 導入の全体像

日本企業における生成 AI の導入は、特に大企業を中心に進展しています [86](#)。2024 年 11 月の情報通信総合研究所の調査によると、従業員規模が大きい企業ほど生成 AI の導入・利用が進んでおり、全社で導入している企業の割合は、従業員数が 1,000 人以上の企業とそれ以外で倍以上の差が見られます [86](#)。業種別では、情報通信業や金融業、保険業などで導入・利用が進んでいる一方、卸売業、小売業や各種サービス業では導入率が 10%前後と低い傾向にあります [11](#) [50](#) [86](#)。2025 年 1 月にコーレ株式会社が発表した管理職 1,002 名を対象とした調査では、約 6 割の企業が生成 AI を業務で利用していると回答しています [85](#)。生成 AI を業務利用している部署としては、「システム開発・IT サポート」(38.2%) が最も多く、次いで「マーケティング・広報」(33.6%)、「営業」(30.9%) と続いています [85](#)。主な利用業務は、「文書作成」(47.7%)、「情報収集・リサーチ・分析」(40.6%)、「設計・デザイン・画像・動画作成」(30.3%) などです [85](#)。



知財部門における生成 AI 活用状況

知財部門における生成 AI の活用は、主に特許業務の効率化を目指して進められています [2](#) [52](#) [87](#)。

具体的な活用例:

- **特許調査:** 先行技術調査、クリアランス調査、無効調査などにおいて、AI が関連文献を高精度で抽出する専門ツールが登場し、調査時間を大幅に短縮できる可能性が示されています [2](#) [14](#) [52](#)。例えば、パナソニックの「PatentSQUARE」や富士通の「ATMS PatentSQUARE」、株式会社 amplified ai の「Amplified」などが挙げられ

ます [87](#)。

- **書類作成支援:** 特許明細書の草案作成や、中間処理における意見書の骨子作成などに生成 AI を活用する研究や試みが行われています [2 52 87](#)。リーガルテック株式会社の「生成 AI Plus」は、弁理士への出願依頼文作成時間を大幅に削減した事例を報告しています [88 90 98](#)。
- **商標業務:** 商標調査（特に図形商標）、出願書類作成（登録商標との類否判断、区分選定の補助）などでの活用が始まっており、一部の特許事務所では既に導入されています [87 93](#)。
- **知財分析・戦略立案:** 大量の特許情報から価値ある発明を見極めたり、競合の動向を分析したりする「IP ランドスケープ」業務の高度化に AI が活用され始めています [5 14](#)。

【0001】
本発明に係る吸収性物品について、以下に詳述する。

(以下、【0002】～【00013】まで変更なし)

【0014】
吸着部16の外部の空気は、第1通気部17から水分吸着部21（水分吸着材12が配置されている空間）に流入し、水

【0015】
除去された空気は、第2通気部18から抵抗部19内に流入する。この抵抗部19内で、空気は抵抗材により一定の抵

【0016】
抵抗部19を通過した空気は、第3通気部20から臭気吸着部22（臭気吸着材11が配置されている空間）に流入する

【0017】

知財部門における課題: 多くの企業で知財部門の業務効率化が期待される一方で、課題も指摘されています。

- **ノウハウ・知識不足:** 生成 AI を有効活用するためのスキルや知識を持つ人材が不足していることが挙げられます [3 11 50](#)。
- **正確性・信頼性:** AI の生成結果が常に正確であるとは限らず、特に専門性の高い知財情報においては、その検証に時間と手間がかかる場合があります [11 21 50](#)。
- **著作権・情報漏洩リスク:** 生成 AI が学習データとして利用した著作物の権利侵害や、機密性の高い発明情報などの漏洩リスクへの懸念があります [11 23 50](#)。これは特に知財部門にとってセンシティブな問題です。
- **専門業務への適用限界:** 発明の本質的な理解や、複雑な法的判断、戦略的な意思決定など、高度な専門知識や創造性を要する業務への AI の全面的な適用は現時点では困難とされています [2 52 87](#)。例えば、発明の発掘業務については実用化の目処が立っていません [2 52 89](#)。
- **満足度の低さ:** 情報通信総合研究所の調査では、法務・知財部門で働く従業員の生成 AI 利用に対する満足度は、他

部門と比較してやや不満を感じる割合が多いという結果が示されています [50 86](#)。これは、個社特有の情報や専門用語を多く扱うため、汎用的な生成 AI では対応しきれないケースがあることなどが要因として考えられます [86](#)。

他部門における生成 AI 活用状況

知財部門以外の部門では、より広範な業務で生成 AI の活用が進んでいます。

- **マーケティング・広報:** 広告コピーやブログ記事の作成、画像生成、顧客データの分析、パーソナライズされたコンテンツ配信などに活用されています [10 27 39](#)。
- **営業:** 顧客へのメール作成、提案資料の作成、商談履歴の分析による営業スキルの特定などに利用されています [3 85](#)。
- **システム開発・IT サポート:** コード生成、バグ修正、ドキュメント作成、問い合わせ対応などで活用が進んでいます [85](#)。
- **人事:** 求人票の作成、従業員への通知メール作成、研修コンテンツ作成などで利用例があります [3 43](#)。
- **その他:** 会議の議事録作成、データ集計・分析、翻訳など、多くの部門で共通的に利用できる業務で効率化が図られています [2 27 38](#)。

知財部門と他部門の比較

現状のデータからは、知財部門の生成 AI 活用が他部門、特にマーケティング、営業、IT 部門と比較して顕著に進んでいるとは言いがたい状況です。

- **導入率・活用範囲:** コーレ株式会社の調査では、生成 AI を利用している部署の上位に知財部門は明示されておらず、システム開発、マーケティング、営業部門が上位を占めています [85](#)。情報通信総合研究所の調査でも、従業員の生成 AI 利用率はミドルオフィス（経営企画、商品・サービス企画・開発、広報、マーケティング等）で進んでいると報告されています [86](#)。
- **課題認識:** 著作権侵害や情報漏洩といったリスクは、特に知財情報を扱う部門にとって他部門以上に大きな懸念事項となります [11 50 86](#)。また、専門性の高さゆえに汎用 AI では対応しきれない業務が多く、特化型 AI の必要性が高いと考えられます。
- **満足度:** 前述の通り、法務・知財部門の従業員の満足度が他部門に比べて低い傾向が見られます [50 86](#)。

これらの点から、知財部門は生成 AI のポテンシャルを認識しつつも、その特性やリスクを慎重に評価し、限定的な範囲での活用からスタートしている、あるいは本格導入に至るまでのハードルが他部門より高い状況にあると推察されます。

海外（特に米国）との比較

PwC Japan グループの調査によると、日本企業が生成 AI を既存業務の効率化や人手不足解消に主眼を置いているのに対し、米国企業は生成 AI を活用した新しい顧客体験の創出や新規事業への投資といったイノベーションサイクルを回すことに注力している傾向が見られます [15](#)。知財戦略においても、この活用目的の違いが影響している可能性があります。

今後の展望と課題

知財部門における生成 AI の活用は、今後さらに進むと予想されます。

- **知財業務特化型 AI の発展:** 特許調査、明細書作成、知財分析など、各業務に特化した AI ツールの精度向上と普及が期待されます [5 8 17](#)。
- **人材育成:** AI を使いこなし、その結果を適切に判断・活用できる知財専門家人材の育成が急務です [3 27](#)。
- **リスク管理とガイドライン策定:** 著作権、情報セキュリティ、倫理的側面に関するリスクを管理するための社内ガイドラインの整備や、法制度の動向を注視する必要があります [1 6 12](#)。
- **戦略的活用へのシフト:** 単なる業務効率化に留まらず、AI による高度な分析能力を活かして、より戦略的な知財ポートフォリオの構築や、新たな発明創出の支援へと活用範囲を広げていくことが求められます [5 17 95](#)。

結論として、先進企業において知財部門の生成 AI 活用は、特定の分野で成果が出始めているものの、他部門と比較すると、導入のスピードや範囲、従業員の満足度といった面で遅れを取っている、あるいは慎重な姿勢が見られると言えます。これは業務の専門性や機密性の高さ、リスクへの感度などが影響していると考えられ、今後の特化型 AI の発展や適切なリスク管理体制の構築が、知財部門における AI 活用の鍵となるでしょう。

1. [Copyright and Artificial Intelligence | U.S. Copyright Office](#)
2. [知財業務 生成 AI でどこまでできる？](#)
3. [生成 AI 導入を阻む壁の乗り越え方 | 日本企業の人事部における ...](#)
4. [Real-world gen AI use cases from the world's leading ...](#)
5. [生成 AI が変える特許収益化戦略：知財分析高度化の可能性](#)
6. [Generative Artificial Intelligence and Intellectual Property](#)
7. [Generative AI Has an Intellectual Property Problem](#)
8. [加速する生成 AI、LLM は特許業務をどう変えるか - PR TIMES](#)
9. [数字で見る 情シスと生成 AI の実情 2024 - ソフトクリエイト](#)
10. [20 Examples of Generative AI Applications Across Industries](#)
11. [【報道発表】企業における生成 AI 活用の格差浮き彫りに](#)
12. [Investigating the impact of generative artificial intelligence on ...](#)
13. [Generative Artificial Intelligence: Intellectual Property](#)
14. [AI と知的財産権。特許調査や著作権管理での活用事例を紹介](#)
15. [生成 AI に関する実態調査 2024 春 米国との比較 - PwC](#)

16. [Top Generative AI Use Cases by Industry – InData Labs](#)
17. [生成 AI が企業の知財戦略変える、即時出願やアイデア創出に活用](#)
18. [Ownership Battles in the Age of Generative AI – Patsnap](#)
19. [AI, Copyright, and the Law: The Ongoing Battle Over ...](#)
20. [AI 搭載ソフトウェアの知財部門業務への適用に関する課題と ...](#)
21. [大企業の活用実態は？】職場で生成 AI を活用できているのは](#)
22. [Research Generative AI Usage Guidance](#)
23. [令和 6 年版 情報通信白書 | 企業向けアンケート – 総務省](#)
24. [Generative AI and Intellectual Property: Copyright Implications ...](#)
25. [Intellectual property in the age of Generative AI – DLA Piper](#)
26. [特許調査分析と生成 AI の未来 – note](#)
27. [生成 AI 活用事例 | ビジネスシーンでの業界別・部門別導入事例 ...](#)
28. [Generative AI for legal professionals: Top use cases](#)
29. [AI データ社、生成 AI 「AI 孔明 \(TM\)」が変える R&D・知財管理の ...](#)
30. [intellectual property rights and generative AI | Policy and Society](#)
31. [Best Practices for Mitigating Intellectual Property Risks in ...](#)
32. [知財管理システム比較 13 選。メリットや機能、タイプ別の選び方](#)
33. [生成 AI の活用状況を調査。活用している企業は 17.3%にとどまる](#)
34. [GenAI use cases by type and industry | Deloitte US](#)
35. [What Is The Future Of Intellectual Property In A Generative AI ...](#)
36. [Generative AI Has an Intellectual Property Problem : r/aiwars](#)
37. [生成 AI は知財業務にどんな影響を与えるのか？～商標業務への ...](#)
38. [生成 AI による業務効率化事例！作業別・業界別にまとめて解説](#)
39. [The state of AI in 2023: Generative AI's breakout year | McKinsey](#)
40. [The Fast–Moving Race Between Gen–AI and Copyright Law](#)
41. [Artificial intelligence and copyright: use of generative AI tools ...](#)
42. [多部門展開で加速するユニ・チャームの生成 AI 活用 ブレイン ...](#)
43. [生成 AI に関する調査レポート | 人事業務への生成 AI 活用状況](#)
44. [AI Gains Ground in Corporate Legal Departments | FTI](#)
45. [Generative AI: Privacy & Intellectual Property – Research Guides](#)
46. [社員の生成 AI 活用率 99%を達成。非エンジニア含む全職種が ...](#)
47. [Generative AI: What Is It, Tools, Models, Applications and Use ...](#)
48. [生成 AI サービス別利用状況～生成 AI 利用実態調査 ビジネス ...](#)

49. [Generative AI use cases for the enterprise – IBM](#)
50. [【報道発表】 企業における生成 AI 活用の格差浮き彫りに](#)
51. [“AI でいいや”が 8 割超！『2025 年最新・企業の生成 AI 利用実態 ...](#)
52. [知財業務 生成 AI でどこまでできる？](#)
53. [日本企業における生成 AI 導入状況と働き方の変化 – note](#)
54. [Transformation of IP Offices through responsible use of AI by ...](#)
55. [令和 6 年版 情報通信白書 | 企業向けアンケート – 総務省](#)
56. [The IP Trends Revealed by Our 2024 IP Outlook Research](#)
57. [Gartner、AI への組織的な取り組み状況に関する調査結果を発表](#)
58. [生成 AI 活用事例 | ビジネスシーンでの業界別・部門別導入事例 ...](#)
59. [Reviewing 2024's AI Patent And Copyright Developments](#)
60. [AI Adoption Statistics 2024: All Figures & Facts to Know](#)
61. [What's yours isn't mine: AI and intellectual property](#)
62. [生成 AI 比較&導入事例 | 日本企業の成功事例 10 選と活用ポイント](#)
63. [生成 AI による業務効率化事例！作業別・業界別にまとめて解説](#)
64. [知財業界での教育革命：AI が切り拓く新時代の実務スキル](#)
65. [日本の AI（人工知能）導入状況と導入の必要性、業界別の活用 ...](#)
66. [AI 搭載ソフトウェアの知財部門業務への適用に関する課題と ...](#)
67. [Artificial Intelligence and the Intellectual Property Rights Debate](#)
68. [知財管理システム比較 13 選。メリットや機能、タイプ別の選び方](#)
69. [自治体における最新生成 AI 事情まとめ！導入状況や事例を紹介](#)
70. [AI Adoption in 2024: 74% of Companies Struggle to Achieve ...](#)
71. [AI and intellectual property rights – Dentons](#)
72. [AI Adoption Statistics: How Many Businesses are Using AI?](#)
73. [生成 AI は知財業務にどんな影響を与えるのか？～商標業務への ...](#)
74. [AI Adoption Statistics: Key Insights for Companies – Edge Delta](#)
75. [Artificial Intelligence and Intellectual Property – WIPO](#)
76. [How Many Companies Use AI? \(New 2025 Data\)](#)
77. [AI adoption among organizations worldwide 2024 – Statista](#)
78. [Copyright Or Copywrong? AI's Intellectual Property Conundrum](#)
79. [Latest updates on artificial intelligence and intellectual property](#)
80. [The State of AI: Global survey | McKinsey](#)
81. [AI と知的財産権。特許調査や著作権管理での活用事例を紹介](#)

82. [The who, what, and where of AI adoption in America | MIT Sloan](#)
83. [Taking Stock of AI Adoption Across the U.S. Economy](#)
84. [The Fed – Measuring AI Uptake in the Workplace](#)
85. [“AI でいいや”が 8 割超！『2025 年最新・企業の生成 AI 利用実態』から見る企業の人員削減の意向とは？ | コーレ株式会社のプレスリリース](#)
86. [【報道発表】企業における生成 AI 活用の格差浮き彫りに – 規模別・業種別の利用状況・課題と今後の展望 – | 情報通信総合研究所:ICR](#)
87. [知財業務 生成 AI でどこまでできる？【知財 HR】](#)
88. [【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90 ...](#)
89. [知財業務 生成 AI でどこまでできる？](#)
90. [【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を 90%近く ...](#)
91. [AI と知的財産権。特許調査や著作権管理での活用事例を紹介](#)
92. [特許業務を変革する生成 AI の最新事例を大公開 – NFT – TIMES](#)
93. [生成 AI は知財業務にどんな影響を与えるのか？～商標業務への ...](#)
94. [知財 AI 活用研究会の研究事例紹介 – J – Stage](#)
95. [生成 AI が企業の知財戦略変える、即時出願やアイデア創出に活用](#)
96. [【弁理士が解説】最新の登録事例から学ぶ生成 AI の特許戦略](#)
97. [AI 特許ツールが変える 5 つの業界 特許戦略を支える「強力な ...](#)
98. [【知財生成 AI 活用例】特許出願依頼文の作成時間を AI で 90%近く削減！ | リーガルテック株式会社のプレスリリース](#)